

# Fire Press

二宮町消防団広報紙

平成18年3月30日発行

Vol.3

## 「消防署と消防団って違うの？」

消防署は、火事や災害からみんなを守ることを専門に活動しているのに対して、消防団は、地域に住む人たちが、普段は、それぞれの仕事をしながら、火事や災害の時に集まり、みんなを守るために活動しています。

消防署で働いている人たちを消防士といい、消防団に参加している人たちを消防団員といい、消防士と消防団員は協力しながら、活動をしています。



平成18年1月8日 出初式での一斉放水

日本消防協会特別表彰  
「まとい」  
昭和57年授賞



## ご挨拶

二宮町消防長 菊地 元



陽春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成17年4月1日付にて消防長に就任いたしました菊地でございます。

消防団員の皆様方には、日頃から地域住民の生命、身体、財産をあらゆる災害から守るため日夜訓練等に尽力され心から敬意を表し感謝申し上げます。

近年の災害発生状況を見ますと、台風、地震、集中豪雨などの自然災害や大規模事故など発生しております。また、首都直下型地震や、東海地震等々大規模地震の発生も懸念されている中で、消防団員の住民からの期待も大きいものがあります。これからも地域住民の安心、安全のためにご協力をお願いいたします。

最後に、二宮町消防団広報紙第3号の発行できたことにお喜び申し上げます。今後も継続して発行して頂くとともに、団員皆様方の健康を祈念して挨拶といたします。

## 人生を豊かにする出会い

二宮町消防団長 柳川 駅 司

消防団は、何ととっても長い人生の中で大勢の人々と知り合うことができるのが魅力です。

また、消防団活動を通じて、人を助けるといふ思いやりの気持ちが芽生えてくると信じています。

消防団員は、ボランティア的な性格が強く、地域や家族、そして仲間を守るために団結して地域防災にあたるという大切な役割を担っています。より多くの方々に消防団に参加・経験をしていただき、災害につよい二宮町となるのが、私の願いです。

今春、二宮町消防団は、「財神奈川県消防協会会長表彰」を授賞しました。これも諸先輩の永年の功績・現役団員の日頃の活動実績の賜ものであり、深謝申し上げます。今後もなお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



# 定期訓練

消防団は、月1回の定期訓練を行っています。



礼式訓練(第一分団)

有事の際、慌てず確実に操作ができるようにするためにも、基本的な訓練は大切です。

ホース結合、器具の操作訓練、消防ポンプ車の操作……etc.

実際に消火栓や防火水槽を使用しての放水訓練も行います。礼式訓練も大切な訓練です。



背負子(ホース3本収納)でのホース延長



河川へ放水(第三分団)

## 二分団・三分団合同定期訓練

平成17年9月10日(土)

サラリーマンの団員が過半数の現状、有事の際に団員が足りない状況もあります。

少人数でも分団同士が協力して、行動することも大切な事です。

二分団が水利(消火栓)を確保し、現場に三分団が行く想定で、中継延長して放水訓練を行いました。(下川窪)



## 操法訓練

第五分団の訓練風景



## 新入団員訓練

新入団者には、消防署員による基礎訓練の指導があります。



新入団員による器具操法訓練(二宮小学校校庭)



**消防団活動は、整列で始まり、整列で終わります。**

## 体力練成大会

消防職団員の体力・士気高揚・親睦を深めることを目的に、毎年実施しています。現在、第四分団が三連覇中です。

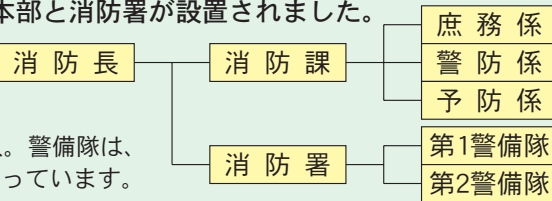
平成17年8月27日(土) ソフトボール大会(町民運動場)



活躍した団員に、団長賞の授与

昭和47年2月に二宮町消防本部と消防署が設置されました。

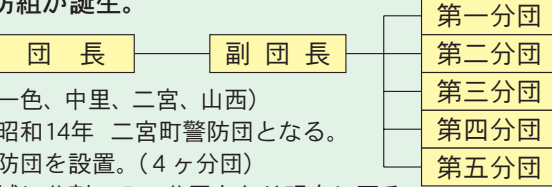
### 消防本部・消防署



現在、消防職員は、現在38人。警備隊は、2交代制で有事の出動体制をとっています。

明治17年、一色村に私設消防組が誕生。

### 二宮町消防団



明治37年 公設消防組を設置（一色、中里、二宮、山西）  
 昭和12年 二宮消防組に統一。昭和14年 二宮町警防団となる。  
 昭和23年 自治体消防として消防団を設置。（4ヶ分団）  
 昭和29年 第二分団区域を2区域に分割、5ヶ分団となり現在に至る。

常備消防（昭和47年2月消防署）が設置されるまで、第一線での活動等、輝かしく永い伝統を持っています。

5ヶ分団で組織され、常備消防の協力機関として消防業務の活動をしています。

定員は、78人。消防業務が本職ではありません。



## 火災予防運動

年2回、期間中は消防車が、広報・巡回で回ります。

期間中は、消防車の広報・巡回の他、消火栓・防火水槽の点検等を行います。

- 秋の火災予防運動 11月9日～15日
- 歳末特別警戒 12月25日～31日
- 春の火災予防運動 3月1日～7日

火災予防運動期間中、サイレンが21時より30秒間鳴ります。火災が発生しやすい気候（期間）なので、火災予防啓発吹鳴です。御理解、よろしくお願いします。

## 巡回中の贈り物(^o^)

消防車の巡回中、出てきてくれる子どもたちがいます。手を振ってくれたり、声をかけてくれたり…

ファンがいるというのは嬉しいもので、巡回中のある日、いつもの姉弟から、2枚の絵のプレゼントが！

姉弟の絵は記念に詰所に飾ってあります。

あめは、団員皆でおいしく食べさせてもらいました。( ^ o ^ )

## 合同訓練

年に1回、五ヶ分団と消防署の合同による訓練を行っています。

↓大型店舗火災を想定し、葛川から水利をとる。



ラディアン前の葛川

## 平成16年10月9日 台風22号 警戒出動

台風の接近で急変する天候！いきなりの激しい風雨で、増水する葛川、氾らん寸前であった。15時過ぎ、全分団が警戒出動！大事に至らなかったのが、幸いでした。

# 消防放水体験

ラディアン北側調整池：第四分団協力  
(平成17年7月23日、二宮町商工会青年部主催「第23回ふれあい広場」にて)



ボクもわたしも将来は消防士？

消防団員が補助し、体験者の安全を最優先に行いました。



耐震車で、地震体験！！



## 第二分団 消防ポンプ車が新しくなりました

平成17年10月15日 引渡式 安全祈願祭 更改式 於：下町老人憩の家

平成元年より16年の永きに渡り、使用してきました第二分団の消防ポンプ車が平成17年10月をもちまして更改となりました。引渡式で、新しい消防ポンプ車は、町長から消防団へ(二宮町)→ 団長(二宮町消防団)→ 第二分団に譲渡されました。

無事、納車の日を迎えられたのも、ご尽力をいただきました古澤町長をはじめ、多くの関係各位に厚く御礼申し上げます。新しい消防車は、ホースカー搭載、タッチパネル等のハイテク装備が備えられた充実ぶりに只々感銘するのみです。

新しい消防車のもと新たな志気高揚し、消防活動に励んで行きます。  
(二分団 I.M)

←川勾神社宮司のもと安全祈願祭

新旧二分団ポンプ車→



## 消防団は社会の入口

消防団には、色々な職業の人たちがいます。洗濯屋さん、畳屋さん、植木屋さん、魚屋さん……そして、色々な職業に従事するサラリーマンなど。

生活環境が違うので、いろんな話が出てきます。

入団当初は、とまどいながらも、消防活動を通じての仲間意識や不思議な連帯感も生まれてきます。

消防団に入団して、近所のおじさんが声かけてくれるようになったり、地域の絆も感じました。

仕事や自分のプライベート以外でも一つの仲間を作る楽しさ、大切さを、ぜひ感じてください。

## 団員の声

## 出動経験 ～地域の役に立つ手ごたえ～

サイレンが鳴り、分団詰所へ飛んで行きました。分団長以下5人での出動。現場に着くと住宅火災で、緊張の中、ホースを伸ばして行きました。後着の団員も加わり、「放水始め」です。実際の火災現場では、考えているのとは違い、もの凄い煙で驚きです。先輩団員と筒先を交替しながら、放水しました。火の勢いがおさまり、消防職員が家屋内に入り、ここで「おさめ」(撤収)がかかりました。緊張で疲れましたが、ホッと一息です。

消防団という古めかしい名前と違い、地域の役に立つ手ごたえを感じることができ、貴重な体験でした。

# 消防団員募集

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう。」



20代・30代の男子の方で分団活動に協力してくれる方を広く募集しています。より多くの方に消防団活動を経験してもらい、地域防災の一翼を担っていただきたく願います。任期・活動内容等は各分団ごとにこととなります。

公務災害補償制度  
被服の貸与  
退職報償金  
表彰制度

問い合わせ  
消防本部 消防課  
☎72-0015

- 第一分団 (川勾・釜野・越地・茶屋・梅沢)
- 第二分団 (上町・中町・下町)
- 第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)
- 第四分団 (中里・百合が丘1丁目)
- 第五分団 (一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活躍されている人たちの集まりです。